

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29213	音楽表現指導法 I	平田 和世	1年次・後期	演習・1単位	幼免・保育士選択必修

授業の概要 / Course Outline
乳幼児の発達に即した保育を展開することを念頭に、音楽表現の具体例(手あそび、わらべうたあそび、体を使ったあそび、音あそび、ハンドベル 等)を体験する。その経験から発達や学びの過程を考え、ねらいや内容を保育に活かす方法を身に付ける。また、保育者にとっての音楽知識・技術の在り方を考える。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・保育所保育指針・幼稚園教育要領に示された領域「表現」の内容の理解。	A-② B-②
・乳幼児の発達と表現の関わりを理解し、表現を育む保育のあり方を知る。	A-② B-①
・表現活動の発展につながる具体的な手法を知る。	A-② B-②
・自己の表現能力を見つめ、保育者としての資質向上の取り組み方を考える。	A-① C-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	30%	振り返りレポート
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	70%	音楽表現方法の発表

教科書 / Textbooks
保育所保育指針・幼稚園教育要領 「手あそび指あそび」(ドレミ音楽出版)

参考書 / Reference Books

予習・復習 / Preparation・Review
表現の手法については、復習を怠らず自信を持ってどこでもすぐに活用できるようにしておくこと。そのためには、毎回の授業をまとめ将来使える資料になるように記録すること。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
毎回授業冒頭に、前回の授業内容のフィードバックを行う。まとめの発表については、個々に講評を行う。

その他 / Others
常日頃から、幼児の活動に関心を持ち、表現につながる素材を収集するように心掛けること。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	保育所保育指針・幼稚園教育要領の理解(1)
	「表現」領域におけるねらい及び内容について。
02	保育に活かす具体例(1)
	「てあそび」を通じた表現についての意義と可能性を考える。
03	保育に活かす具体例(2)
	「てあそび」の種類と分類、具体例の実践。
04	保育に活かす具体例(3)
	「体を使った音楽あそび」の具体例と実践。
05	保育に活かす具体例(4)
	「わらべうた」「縄跳び歌」の具体例と実践。
06	保育に活かす具体例(5)
	「リズム遊び」の具体例と実践。
07	保育に活かす具体例(6)
	「えかきうた」「手話ソング」の具体例と実践。
08	保育に活かす具体例(7)
	「音あそび」の具体例と実践。
09	保育に活かす具体例(8)
	「ミュージックベル」を用いた表現の意義と可能性について。①
10	保育に活かす具体例(9)
	「ミュージックベル」を用いた表現の意義と可能性について②
11	保育に活かす具体例(10)
	「イングリッシュベル」の体験を通し、表現の可能性を広げる。①
12	保育に活かす具体例(11)
	「イングリッシュハンドベル」の体験を通し、表現の可能性を広げる。②
13	「保育現場で実践したい音楽表現の具体例」の発表①
	それぞれが考える音楽表現の具体例を発表する。
14	「保育現場で実践したい音楽表現の具体例」の発表②
	発表内容を振り返り、今後活かす工夫を行う。
15	まとめ
	様々な観点から「音楽表現」を再考すると共に、保育者にとっての音楽知識・技術の在り方を考える。